

車両・船舶・航空機り災申告(調査)書									
①	平成〇〇年〇〇月〇〇日 渋川広域消防本部 消防長 様 火災によって次のとおり、り災したので申告します。 申告者 住所 渋川市渋川〇〇〇〇番地 職業(職) 会社員 氏名 渋川 消太 (印)								
	り災年月日	平成〇〇年〇月〇日		り災場所	渋川市渋川〇〇〇〇番地				
②	り災物件と申告者の関係 所有者・管理者・占有者・その他()								
③	運転者(機長)	渋川市渋川〇〇〇〇番地							
	住所・職・氏名	会社員 渋川 消太		昭和〇〇年〇〇月〇〇日生(当〇〇歳)					
④	り災車両等	自家・営業別	自家用・営業用	年式(機種等)	H〇年	登録番号(機名等)	群馬 し 〇〇-〇〇		
		用途別	普通乗用	購入年月	H〇・〇	購入金額	〇〇万円	経過年数	〇年
⑤	り災程度(焼けた箇所等)	・全損 ・エンジンルーム内 等				損害見積額	〇〇〇円	※調査損害額	空白千円
⑥	り災積載物等	品名	数量	購入年月	り災別	購入時価格	損害見積額	※調査損害額	
		ゴルフバック	1	H〇年〇月	焼・消・他	〇〇〇〇	〇〇〇〇	空白	
					焼・消・他				
		小計					〇〇〇〇円	空白千円	
⑦	火災保険	契約先	△△ 保険会社			契約金額	〇〇〇〇〇〇円		※調査損害額合計
							円	空白千円	
記載要領	※の欄は、記入しないでください。 選択箇所は、該当するものに○で囲んでください。 ①の欄 (印)のところに押印してください。(指印でもよい) ④の欄 用途別の欄は、貨物、タクシー、乗合バス、電車等などの用途を記入してください。 ⑤⑥の欄 損害見積額の欄は、り災した建物等の時価を基準として、被害程度により損害額を見積もって記入してください。 ⑥の欄 り災別の欄は、焼・消・他の意味は、次のとおりです。 焼 …… 火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融、破損したもの。 消 …… 消火作業により水損、破損、汚損したもの。 他 …… 爆発によって壊れたもの。								
	※本調査担当者	所属	空白						
		氏名	空白						

【年月日】
提出日を記入してください。

り災物件と申告者の関係
 【所有者】
車検証等にきさいされている所有者
 【管理者】
車両等の整備・管理している者
 【占有者】
実際に車両を使用していたもの
 【その他】
上記以外の者

【※調査損害額】
記入不要

【損害見積額】
不明な場合は記入不要

【※調査損害額】
記入不要

【※本調査担当者】
記入不要

- 備考 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
 2 この申告書は、概ね5日以内に提出してください。
 3 この申告書は、り災した建物(所有者等)ごとに提出してください。